

みらい

人を大切に、よい医療・やさしいケア・安心を
提供できる病院を目指します。

安来市立病院

〒692-0404

島根県安来市広瀬町広瀬1931

TEL0854(32)2121 FAX0854(32)2125

http://www.city.yasugi.shimane.jp/hospital/



高齢者の誤嚥性肺炎ごえんせい

副院長 田中弘道

65歳以上の高齢者の死亡率が96%と非常に高いものに「肺炎」があります。90歳以上では死亡原因第2位になっていきます。高齢者によく起こる肺炎の大部分は、「誤嚥性肺炎」と呼ばれるものです。これは、本来食道を通って胃に入るはずの食べ物の一部や、唾・痰などが間違っただけで気管に入り込み、その結果、病原菌も一緒に肺に入ってしまうことで起こります。

誤嚥性肺炎は、主に脳卒中やパーキンソン病、アルツハイマー型認知症などにより、脳の働きが低下することによって起こります。私達の間では間違っただけで異物が気管に入るとするとそれを咳によって排除するのですが、脳の働きが低下すると咳の働きも低下します。肺炎という高热が出るというイメージがありますが、高齢者の場合はそのような症状が現れにくく、そのために早期発見が遅くなってしまうので、注意が必要で

高齢者で「食欲がない」「元気がない」「全身がだるい」といった症状がある場合には、軽く考えずに、まず「肺炎」を疑って、医師の診察を受けることをお勧めします。

高齢者の肺炎を防ぐためには、間違っただけで気管に異物が入ってしまう「誤嚥」を防ぐ必要があります。そのためには、次のようなことに気をつけましょう。

①口の中は雑菌が繁殖しやすいので、常に清潔にしておくことが大切です。就寝前は口の中をすすぎ、ブラッシングをしましょう。②体を起こして食事をし、その後も2時間程度は寝たりしないで起きたまままで過ごしましょう。③辛い食べ物のはどを刺激し、のどや気管の機能を改善する効果が認められています。食事の中に、ときには唐辛子などの辛いものを入れることも良いでしょう。④散歩などの運動は、心身機能や脳の活動を高めます。適度に体を動かしましょう。

また、一度脳梗塞を起こした人は、医師の指示を守って再発予防のための治療を、正しく続けることが大切です。中には、自覚症状がなく隠れた脳梗塞（無症候性脳梗塞）を起こしている場合もあります。肺炎を起こしやすいため高齢者の方には、まず「脳の検診」を行うことをお勧めします。

基本方針

1. 人権を尊重し、平等の精神をしっかりともちます。
2. 安心を提供できるよう、切磋・協調し責任をもって医療にあたります。
3. 常にやさしさとぬくもりのある心で、ケアに努めます。
4. 保健・医療・福祉の連携を積極的に進め、地域包括医療を実践します。
5. 公務員であることを自覚し、地域住民のために尽くします。

《患者さまの権利》

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利
3. 自分の意志で検査や治療法に対して決定できる権利
4. セカンドオピニオン（他の医師の意見）を求める権利
5. 個人情報（プライバシー）が守られる権利
6. 人としての尊厳性を保証される権利

《患者さまの義務》

1. 医療従事者と共同して治療に参加する義務
2. 医療安全の実践に協力する義務
3. 快適な療養環境の維持に協力する義務
4. 病院の規則を守る義務